

村民だより

No. 388

平成9年 7月1日
東京都小笠原村役場
小笠原村父島字西町
電話 2-3111

平成9. 6. 1現在
住民基本台帳登録者数
世帯 1, 248
父島 1, 037
母島 211
人口 2, 287
父島 1, 871
母島 416
短期滞在者
人口 33
父島 17
母島 16

5月の気象 (父島)
平均気温 23. 6℃
最高気温 28. 4℃
最低気温 18. 2℃
平均湿度 84%
月降水量 107. 0mm

小笠原村長選挙を終えて

平成九年六月一日執行の小笠原村長選挙は去る五月二十七日に告示され、宮川すすむ、宮沢昭一の両氏から立候補の届出がありました。前回平成五年は任期満了選挙でありましたが無投票選挙で、任期満了による選挙での投票は、平成元年以来でした。投票は、母島が五月三十一日(繰上投票)、父島が六月一日に行われ、開票は一日午後八時から村役場議事堂で行われました。開票の結果、宮沢昭一氏が当選を果たし、小笠原村選挙管理委員会古谷委員長から当選証書を付与されました。

村長選挙の結果

	父 島			母 島			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
選挙当日有権者数	806	531	1,337	180	120	300	986	651	1,637
投票者数	619	411	1,030	149	102	251	768	513	1,281
投票率	76.80	77.40	77.04	82.78	85.00	83.67	77.89	78.80	78.25

候補者別得票数

当選	宮沢昭一	六三一票
無効投票	宮川すすむ	五九二票
		五八票

小笠原村選挙管理委員会

小笠原村選挙管理委員会

粗大ごみ収集のお知らせ

父島 七月七日 (月)
母島 七月八日 (火)
七月二十三日 (水)

【出し方】

収集日の朝八時までに、ステーションへ、通行の邪魔にならないように出し下下さい。なお、前日の夜に出さないようにお願いします。

【対象】

電気製品、家具、ふとん自転車など。
【収集しないもの】
バッテリー等の自動車部品、建設廃材、ドラム缶、ボンベ類、鉄屑などは収集しません。

粗大ごみの中でまだ使える物や再利用できる物は、ご近所や知り合いなどに一声掛け合ってみて下さい。自分にとっては必要ない物でも、他の人にとっては充分活用できる物があるかもしれません。ごみの減量化・リサイクルにご協力下さい。

また父島では、ご近所に声を掛けただけで十分使える物があれば、一報いただければ引き取らせていただきます。

役場が引き取ったもの、及び今回の粗大ごみ収集でまだ十分使えるものは、役場で展示会を行い、リユース(再使用する、繰り返し使う)したいと思えますのでご協力お願いします。(展示会

は、八月か九月に実施する予定です。)

問合せ先

産業観光課産業観光係

☎(二) 三一一四

母島支所庶務係

☎(三) 二一一一

ポンコツ車の島外搬出について

七月はポンコツ車の搬出月です。小笠原村では、共勝丸によるポンコツ車(自動車等)の搬出を奇数月に実施しています。日程の詳細は未定ですが、中旬に予定しております。(但し、船のスケジュールにより、若干前後することがあります)決まり次第、ポスターや防災無線でお知らせします。条例でいう、自動車等とは次のとおりです。

廃車となった

・自動車

・バイク

・原動機付自転車

畑や個人の庭に置いてあるポンコツ車も、最後は必ず島外搬出して下さい。

ポンコツ車を出す方は、ご自分の名前を見やすい所に書いて、必ずオイルや、ガソリンを抜いて持ち込んで下さい。また、車内にごみを残したまま出さないようにお願いします。

問合せ先

産業観光課産業観光係

☎(二) 三一一四

母島支所庶務係

☎(三) 二一一一

島内美化運動参加のお礼

去る六月七日、父島で島内美化運動を行い、三百四十五人もの多くの方々のご参加をいただきました。おかげさまで、空き缶などを始めとする約二トンのごみを集めることができました。参加してくださった村民の方々をはじめ、ご協力くださった各団体及び小笠原小学校の皆様へお礼申し上げます。

産業観光課産業観光係

動物巡回診療のお知らせ

社団法人東京都獣医師会では、小笠原村・東京都との共催により、動物の巡回診療と、飼犬・飼ネコの不妊・去勢手術を行ないます。飼犬・飼ネコを適正に飼養し、むやみな繁殖を抑制すること、周囲に迷惑をかけることは、飼主のマナーであり、責任です。不幸な子犬・子ネコを増やさないために、この機会を是非ご利用下さい。

診療(予防接種・健康診断・犬のフィラリア予防薬を含む)及び不妊・去勢手術を希望される方は、薬を用意する都合がありますので、七月七日(月)までに、保健所へ電話で申し込んで下さい。予約されていない方は診療を受けられませんのでご注意ください。実施日時及び会場等については、こちらから個別にご連絡いたします。

なお、今年度より、投票が必要の場合は、薬代(実費)を負担していただきます。

問合せ先

島しょ保健所小笠原出張所

☎(二) 二九五

産業観光課産業観光係

☎(二) 三一一四

オガサワラオコウモリ 食害実態調査の実施について

オガサワラオコウモリは、国の天然記念物であり、環境庁のレッドデータブックにおいて危急種に指定されている貴重な保護指定動物です。生息数の減少が危惧されていましたが、近年、徐々に個体数が回復している兆しをみせており、それにともなつて果樹その他農作物に対する食害が指摘されはじめました。

昨年度に、村ではオガサワラオコウモリの生態調査を実施しましたが、今年度は、この研究成果を踏まえ、目下最大の懸案事項である農業被害を主とする食害の実態調査を六月上旬より開始しました。

食害実態調査では、オガサワラオコウモリの農作物への食害の実態を定量的・定性的に把握することを目的としています。

また、父島における食性を確認し、生態学的知見に基づいた食害防止策を立てるための基礎資料を収集します。

調査範囲は父島全域で、調査内容は農家の方々への聞き取りや、食害にあつた作物の解析作業が中心となります。

来年三月末まで調査は実施されますが、調査によつて得た成果については、農業者をはじめとする村民の皆さんに広く還元し、村内農業の振興とオガサワラオコウモリの保護との調整及びオガサワラオコウモリについての正しい知識の普及を図っていきます。調査の実施にあつて、村民の皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。

問合せ先

産業観光課産業観光係

8(11)三二一四

小笠原諸島返還三十周年記念事業 実行委員会の発足について

去る六月六日及び十六日の両日、小笠原諸島返還三十周年記念事業実行委員会設立準備委員会を開催し委員が選出されました。また、二十日に第一回実行委員会が開催され、その結果左記のとおり組織が決定いたしましたので村民の皆様を紹介いたします。

委員長

宮澤昭一(村長)

副委員長

佐藤直人(助役)

父島執行部

式典部

杉田一男

祭典部

大内静

スポーツ部

浅沼一雄

文化部

志村陽之

小笠原文化サークル

ネットワーク

編集室

高橋砥吉

事務局

松山悦文

母島執行部

部長

稲垣政孝

事務局

セーボレー孝

母島支所長

営農研修所

この返還三十周年記念事業は、

より多くの人たちに小笠原の良さを

知ってもらうための情報発信基

地「小笠原」として、多くの情報

を発信することにより、小笠原を

今一度見つめ直し、村民全員が連

帯感を持ち「自立した小笠原」を

築くための第一歩になるような事

業を実施していきたいと考えてお

ります。そのためには、実行委員

会のみならず、村民の皆様と一体

になってこの返還記念事業を成功

させ、今後の小笠原村の発展に寄

与させ得るものにするため皆様の

ご協力をお願い申し上げます。

実行委員会では、各部会ごとに

記念事業等の内容等を検討してい

る一方で、村民の皆様のご協力に

アイデア及び委員としてご協力い

ただける方等、幅広く募集しており

ます。

募集等に対する問合せは、

返還三十周年記念事業

実行委員会

8(11)三二一一

乳幼児健康診査のお知らせ

【父島】

日時 七月十四日(月)

午後一時四十五分から

会場 保健所

【母島】

日時 七月十一日(金)

午後三時から

会場 母島診療所

なお対象者には、個別に通知いたします。

問合せ先

村民課住民係

8(11)三二一一三

造成工事の説明会について

東京都及び村では、二見台都営住宅の西側地区において、都営住宅の建設と第五期分譲のための宅地造成を予定しています。つきましては、造成工事の概要について説明会を行います。

日時 七月三日(木)

午後七時から

場所 村役場第二庁舎会議室

問合せ先

建設水道課

8(11)三二一一五

連載「小笠原のいま・昔」 開始にあたって

六月十三日島を襲った台風六号では、五十五メートルを超える強風でかなりの被害を受けました。最近になり強い台風で、島に壊滅的打撃を与えた昭和五十八年の台風十七号に次ぐほどのものではない。しかし、十四年前の災害も体験している村民は決して多くはあられません。来年は島が米国から返還されて三十周年を迎えますが、返還前後、その後の復興の頃を知っている村民はごくわずかです。

人の出入りの激しさといえはそれまでもありますが、島で生活する者として、貴重な体験は是非伝え残すべきものです。小笠原の今昔を記録することにより島の生活を何かしらの潤いが生まれれば、また後々に語り継がれることができればというのが、この連載の趣旨です。

最初の筆者は小笠原総合事務所長の玉木純雄さんです。返還後まだ日の浅い父島に赴任された頃を中心に、多くの皆さんの知らないことを連載していただきます。

小笠原村教育委員会

小笠原のいま・昔(一)

ハイビスカスの花と椿の木

小笠原は亜熱帯の島であり一年中ハイビスカスの花が至る所に咲いている。そのため、特に珍しい花ではないが南国らしさを漂わせてくれる花である。平成三年まで現存したモダンな洋館の白壁に、現代人の感覚でも十分通ずるこの花をデザイン化したレリーフがアクセントポイントとして施されていたのを知る人も少なくなつた。

その洋館の名は旧東京都小笠原物産陳列館といい、第二次世界大戦後の米軍統治下時代は将兵の集

会娯楽施設(ギンコウカイクラブ)として使われ、復帰後は小笠原総合事務所、小笠原支庁の旧庁舎として使われた。

この建物は、大正十三年頃(約七十年前)小笠原が活気に溢れていた時期に建てられているためか、現代にも通ずるような斬新なデザイン。建物の、現東京都小笠原支庁舎裏の駐車場の一角にあった。今でも当時の建物のあつた場所を示す物としてトックリヤシモドキが当時の位置(正面玄関入口の右脇)に保存されている。

そして、この洋館の白壁を彩っていたのが「ハイビスカスの花のレリーフ」である。この建物も老朽化が激しいため平成三年には取り壊されたが島民の強い要望もあり、小笠原総合事務所及び東京防衛施設局小笠原出張所が入所している新小笠原総合庁舎(平成三年九月落成)敷地内の国旗掲揚ポール下の芝生に、旧庁舎の壁にあつた三種類の「ハイビスカスの花のレリーフ」をそれぞれ一個づつ移設し保存したのである。

なお、レリーフには「製作されたいわれ等」を記載した標識がないため、初めて見る人には新庁舎建設の時に新しく作られた物と錯覚するほど新庁舎と良く調和していることに驚かされるであろう。

さらにまた、新小笠原総合庁舎の正面玄関脇に植えられている椿も由緒ある古木である。この椿もまた、旧東京都小笠原物産陳列館(旧小笠原総合事務所)の裏手に植えられていたものを移植したもので、旧建物が建てられた時期に植えられたと聞いているので少なくとも樹齢数十年で島一番の古木椿である。

このように小笠原の古き良き時代の遺物は島から年々姿を消してきているが、残されている数少ない物を見て往時の小笠原を想像して見るのも楽しいものである。

(玉木純雄)

犯罪や交通事故の被害に

テレビ利用料減免・ 休止制度のお知らせ

小笠原村テレビ視聴管理組合では、世帯組合員について左記の利用料免除制度を設けています。詳しくは管理組合までお問合せ下さい。

①利用料減免制度について
次の条件に該当する世帯について、利用料を免除します。

・生活保護法による扶助を受けている場合。
・災害救助法による救助が行なわれた区域内において、当該救助に係る災害により半壊、半焼又は床上浸水以上の程度の被害を受けた建物を有する場合。
・世帯を構成する者がすべてが村民税非課税であり、かつ次に該当する場合。

・世帯の中に身体障害者手帳(視覚、聴覚、肢体不自由一、二級)を有する者がいる場合。
・世帯の中に、戦傷病者手帳(特別項症、第一款症)を有する者がいる場合。
・世帯の中に精神薄弱(一度、二度)に該当する者がいる場合。
・世帯の中に満六十五歳以上の高齢者がいる場合。

②利用料休止制度について
加入世帯の全員が島外に在る期間が一ヶ月以上ある場合、その期間の利用料を免除します。ただし、月数はその月の一日から月末までを一ヶ月と数えます。

例：不在期間
七月十日から八月十日まで
対象にならない
七月十日から九月二十五日まで
休止一ヶ月(八月分)

休止制度の利用を希望される方は、必ず事前に申請して下さい。

問合せ先
小笠原村テレビ視聴管理組合

☎(二) 三五一〇

☆父島村民会館図書室より

●もつと本を読む子供に：三

図書室で、小学校低学年の子や小さな子が、おおかさんやおうさんと一緒に本を選んでる姿がよく見られます。

また、ある大学教授が選定ばかりしている学生たちに困り果てて、講義の初めに絵本を一冊ずつ読むことにしたところ、みんな時間どおりに来るようになり、授業態度もよくなったという実話があります。

いくら大きくなって、大人になっても、すてきなお話にはうっとりさせられてしまいます。
夏休みには、親子で「海」と「絵本やお話」にひたってみませんか？

小学校低学年以上の子におすすめる本の中から：

「あおい目のこねこ」 マチーセン
「あたしとびようきになりたいな」 ブランデンベルグ
「いたずらきかんしやちゅうちゅう」 パーシニア・パートン
「ねんくみいちばんワル」 後藤竜二
「エルマーのぼうけん」 ガネット
「おもいついたらそのときに」 西内ミナミ
「きょうはなんのひ？」 瀬田貞二
「げんきなマドレーヌ」

「こねこのびつち」 フィッシャー
「三びきのくま」 トルストイ
「十一びきのねこ」 馬場のぼる
「ぞうのババール」 ブリヤン
「どうぶつえんのおいしやさん」 降矢洋子
「とびうおのぼうやはびようきです」 いぬいとみこ
「はじめてのキャンプ」 林明子
「ピーターラビットのおはなし」 ビクトリクス・ポター
「ひとまねこ」 H・A・レイ
「一〇まんびきのねこ」 ガアグ
「ふたりはともだち」 ローベル

「ぼくはねこのバーニーがだいすきだった」 ジュディス・ボースト
「マドレーヌといぬ」 ベーメルマンス
「ロッタちゃんといぬ」 リンドグレーン

●アウトドアや自然に関する本

小笠原では関心を持つ人が多く、多数借りられています。
自然科学や、スポーツ、料理、文学などのコーナーに散らばってありますがよく探すと面白いものが見つかるとは限りません。

「食べられる木の実草の実」 熊沢正子
「自然児」を育てる 信州山の幸研究会
「空の色と光の図鑑」 斎藤文一
「野外における危険な生物」
「自然観察ハンドブック」
「縄文杉の木陰にて」 山尾三省
「図解ヨット入門」 松田菊雄
「自然と友達になるには？」
「はじめての最新釣り入門」 モリイ・ライツ
「ウインドサーフィン」 白石勝彦
「虫を待つ時間」 柴崎政宏
「保全生態学入門」 今森光彦
「ネイチャーゲーム」 鷲谷いづみ
「ジョセフ・B・コーネル」
「自然を見つめる物語」 小野有五
「旅」 矢作嘉博
「ぼくらは自然探偵団」 松岡達英
「野外探検大図鑑」 さとうちか
「自然図鑑」 竹井史郎
「キャンプあそび」
「バックパッキング入門」
「BEEPAL」
※他多数あります。ぜひご利用下さい。

●図書室に欲しい本を教えてください。
購入希望図書、推薦図書がある方は、次の事項を記入したメモを

玄関内の「本のポスト」に投函して下さい。

「記入事項」
一、図書名
二、著者名
三、出版社名
四、定価
五、推薦理由等
不明なところはこちらで調べますが、詳しく記入していただければ助かります。

本のポストへの投函はできるだけ七月の中にお願ひいたします。購入できない場合もありますのでご容赦下さい。

☆「本のサイクル市」はフリーマーケットに出店します。

七月十三日(日) 予定のフリーマーケットに出ますので、ぜひいらして下さい。
詳しい日時・場所は、村民だよりのフリーマーケット欄をご覧ください。

最近内地や島内の方々から寄贈される本が多数あり、図書室にはもうすでにある本など、リサイクルしたい本が多数あります。この機会にぜひ手に入れて下さい。また、ボランティアで短時間手伝ってくださる方、お願いいたします。

おはなし会(ようこそ)

七月のおはなしは六月にできなかったものをしたいと思ひます。トリゴラスとかどんすけといった怪獣が登場します。ぜひ、みなさんできて下さい。

日時 七月十二日(土)
午前九時半～十時半
場所 村民会館 体育室
問合せ先 平田 ☎(二) 三〇七六

フリーマーケット開催

押し入れの中で眠っているものをフリーマーケットでスッキリさせませんか。
前から探していたものをフリーマーケットで見つけませんか。古本、衣類、雑貨なんでもあり。散歩の途中遊びにきませんか。売人、買人、大勢の参加を待っています。

○おわび
六月に予定していましたが、都合で変更になりました。申し訳ありません。あたらしい日時は左記の通りです。

日時 七月十三日(日)
(雨天の場合中止)
場所 村役場第二庁舎下駐車場
問合せ先 千葉 ☎(二) 二六二八
永合 ☎(二) 三〇〇五

がらくたげきあそび

がらくたげきあそびは、七月と八月の二ヶ月はお休みすることになりました。九月になったら、また楽しく遊びたいと思ひますのでぜひきて下さいね。

だいたい小学生以上は第四土曜午前中、幼児は午後を予定しています。
連絡先 西田 ☎(二) 三七八一

盆踊り大会

踊り手及び太鼓のたたき手 募集について

今回よそおいも新たに新曲をオリジナルの振り付けで発表し皆さんで踊りたいと思います。昨年までの曲も新CDでとてもきれいな音になりました。そこで舞台の上で楽しく踊ってください。踊り手さんを募集いたします。また、太鼓のたたきでも併せて募集いたしますのでふるってご参加下さい。募集要項は、先のとおりです。

踊り手募集について
参加希望の方は、七月八日(火)十九時奥村グラウンドクラブハウスにお集り下さい。
練習日程表
七月 十二日
十九日
二十六日
小中学校体育館

場所 小中学校体育館

太鼓のたたき手募集
盆踊りのための踊りやすい太鼓のたたきかたの練習会と実力判定会
参加希望の方は、七月八日(火)十九時小中学校体育館にお集り下さい。
練習日程
七月 中
新曲及び基礎練習を週一回程度
(テープの貸出しもあります)
七月三十一日
実力判定会
判定会では一級二級三級の三クラスにクラス分け
八月一日より七日
おまつり広場のやぐらで踊りの方々と合同練習(一、二級のみ)
問合せ先
平田 〇(二) 二九二九

講演会のお知らせ

演題 「水中写真を 魚の研究に役立てよう」

水中写真にはどのような価値があるのか、また魚類の研究にはどのように役立てることが出来るのか。そして神奈川県立生命の星・地球博物館で進めている「魚類写真資料データベース」について講演いたします。

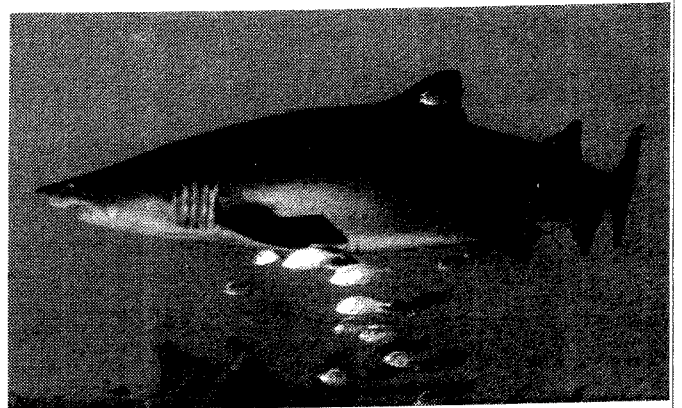
◎公演者 神奈川県立生命の星・地球博物館

主任研究員 瀬能宏さん
また、瀬能さんは水中写真を使って、博物館を中心とする魚の研究者とダイバーを結ぶネットワーク作りを行っています。

日時 七月二日(水) 午後七時三十分から
場所 ビジターセンター

問合せ先

小笠原ダイビングセンター 〇(二) 二〇二一

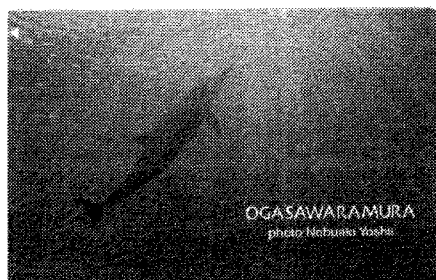
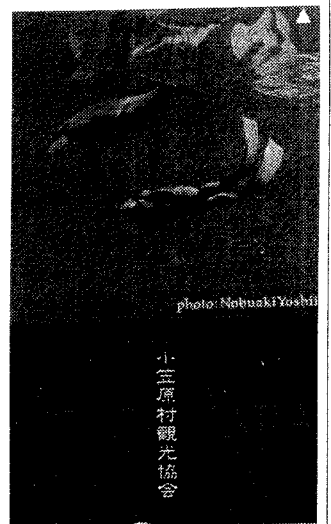
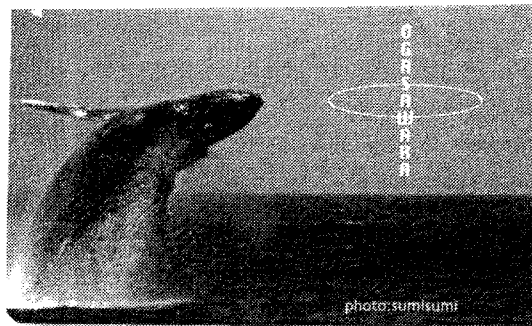
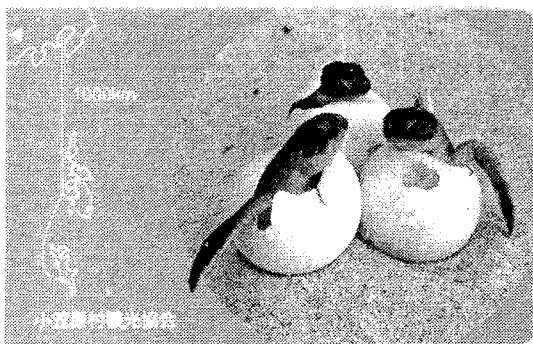


小笠原村観光協会 オリジナルテレフォンカード

完成のお知らせ

村民だよりも写真募集してきたテレフォンカードが五月下旬にようやく完成し、おかげさまで販売を開始することができました。今回採用させていただいた写真は全部で四点で、イルカの写真二点
(マリコンダクター エスコートの吉井信秋さん) クジラの写真一点
(中村澄子さん) ウミガメの赤ちゃんの写真一点
(海洋センター)

小笠原村観光協会



アオウミガメの産卵観察案内

海洋センターでは人工産卵場でアオウミガメの産卵観察を八月中旬まで公開しています。母島で捕獲された八頭の雌亀を生け簀に収容しており、これらの亀が週に二、三回ほど産卵しています。産卵は夜九時から十二時頃にかけ、多く、観察申込者には、その都度亀の穴掘状況にあわせて電話で連絡いたします。

この小笠原の自然の神秘にふれる機会をぜひご利用下さい。ウミガメを驚かさなため人数制限をしておりますので、見学を希望する方は必ず予約をして下さい。(見学料五百円、村民無料)

詳細は、小笠原海洋センター

〇(二) 二八三〇

観光宣伝ポスター フォトコンテスト

小笠原村が毎年作成している観光宣伝ポスター製作用の写真を一般公募するため、下記のとおりフォトコンテストを行います。金賞に選ばれた作品は、観光宣伝ポスターの写真素材として採用され、来年の一月に都内各ＪＲ及び地下鉄の駅にあなたの写真がＢ０判ポスターとして掲出されます。

応募要綱

★コンテストの目的

小笠原村製作の観光宣伝ポスターに用いるため。

★応募資格

不問。一人で複数の応募可。

★部門

A部門 父島列島・母島列島で撮影したザトウクジラの写真

B部門 父島列島・母島列島で撮影した海をテーマとした写真（イルカ、海中の生物、風景等）

（ただし、同じ写真でA B両部門への応募はできません。また、両部門とも未発表作品に限ります。）

★応募のきまり

①応募作品には一点ずつ応募票もしくはそれに準じた様式のもの添付して下さい。

②応募作品はポジ（スライド）のみ受け付けます。

③コンテストで銅賞以上に入賞した作品については、著作権は一年間（平成10年中）小笠原村に帰属します。

④入賞作品のポジは、速やかに提出していただきます。

⑤作品の応募は郵送もしくは直接持ち込みでお願いします。

⑥応募作品の返却は希望する方のみ行います。

⑦入賞後であっても、応募の規定に反するものは入賞を取り消されることがあります。

★応募期間

平成9年9月1日（月）～平成9年9月30日（火）

（村外からの応募は、9月28日（日）東京発便に間に合うようお願いいたします。）

★賞

A部門

金賞	賞金20万円	1作品
銀賞	賞金10万円	1作品
銅賞	賞金5万円	1作品
入選	賞金2万円	3作品

B部門

金賞	賞金20万円	1作品
銀賞	賞金10万円	1作品
銅賞	賞金5万円	1作品
入選	賞金2万円	3作品

★発表方法

入賞、入選者には、直接本人に連絡するとともに村民だより11月号に掲載します。

★応募先及び問い合わせ先

〒100-21

東京都小笠原村父島字西町

小笠原村産業観光課（持ち込みは母島支所でも可）

☎04998-2-3114

（ご希望の方は、応募要綱をFAXいたします。）

A部門応募票

応募者氏名

住所・電話番号

撮影場所

応募作品の返却を 希望する ・ 希望しない
（どちらかに○をしてください。）

B部門応募票

応募者氏名

住所・電話番号

撮影場所

応募作品の返却を 希望する ・ 希望しない
（どちらかに○をしてください。）

サマーフェスティバル' 97 が開催されます！

今年もサマーフェスティバルの季節がやってきました。今回の内容は、以下のとおりです。今年のキャッチフレーズは「Soul・Swing・Slow・Swim」です。小笠原の素晴らしい自然の下でおもいきり遊んで下さい。

オープニングイベント

シマアジの放流

8/1(金)10:00~放流終了まで(雨天順延)

場所 青灯台岸壁

(実施日に防災無線でご案内いたします)
海洋牧場で養殖されたシマアジの放流です。

盆踊り

8/8(金)、8/9(土)、8/10(日) (雨天中止)

場所 18:30~21:00 お祭り広場

夏の風物詩、盆踊りをお楽しみ下さい。
小笠原限定「小笠原音頭」をマスターしよう！

小笠原 J A M M I N '

8/3(日)18:00~21:30 (雨天の場合は4日)

場所 お祭り広場

バナナの叩き売り、夜店、村民バンド

島の音楽愛好家の青年たちが一同に集まって行うコンサートの夕べ。ジャミン、それはみんなで集まって楽しく遊ぶこと。

※当日の夜店を募集しています。また、昨年と地割が異なる場合があるかもしれません。ご了承下さい。

(裏の申込書により7/18(金)までに商工会 ☎ 2-2666 へ。なお、出店品目により内容を調整させていただく場合もあります。)

大花火大会

8/9(土) 20:30~21:00 (雨天順延)

青灯台岸壁にて打ち上げ

今年も二見湾の夜空に、華やかな大輪の花が咲き乱れます。

南洋踊り&KA-KAの夕べ

8/15(金)、21(木)、27(水) 19:30~21:00

場所 お祭り広場 (雨天中止)

東京都無形文化財の一つとして指定された「ウラメ」、「ウドロ」などの唄、南洋踊りとタマナのパーカッションKA-KAを皆さんと一緒に踊り歌い、演奏します。

子ガメの放流

8/21(木)、26(火) 16:00~

場所 大村海岸

(実施日は防災無線にてご案内いたします)

ビーチバレー

8/15(金)、20(水) 11:00~受付開始

場所 小港海岸

男2人1チーム、女3人1チーム

1位から3位まで賞品有り

※試合の後は海へ直行！水着をお忘れなく。

その他詳細は・・・小笠原サマーフェスティバル'97実行委員会(商工会内 ☎ 2-2666) へ

サマーフェスティバル'97

大花火大会広告料 及び寄付金ご協賛 のお願い

毎年恒例の大花火大会が八月九日(土)行われます。この打ち上げ費用の一部に協賛広告料(一口一万円)をあてています。花火広告料は、盆踊り会場内での放送、掲示板でご紹介します。お店の広告に最適です。また、個人の方の協賛金とサマーフェスティバル全体の寄付金も受け付けます。広告料、寄付金ご協賛についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

小笠原ジャミン及び 盆踊り夜店募集

小笠原ジャミンと盆踊りに夜店を募集します。出店希望の方は、左記の要綱によりお申し込み下さい。

出店日

①小笠原ジャミン

八月三日(日)

②盆踊り

八月八日(金)～十日(日)

申込方法

販売品目、代表者名、連絡先住所、電話番号を下記の申込書に記入の上お申し込み下さい。なお出店の内容により、品目を事前調整させていただきます。

申込多数の場合は、抽選にて決定いたします。
また、昨年と地割りが異なる場合があるかもしれません。御了承下さい。

申込締め切り

七月十八日(金)

花火広告料、寄付金のお問い合わせ、夜店申込先

サマーフェスティバル'97

実行委員会

受付担当 内田、渡辺

小笠原村商工会内

二二六六六

夜店申込書

盆踊り ←(どちらかに○を囲んでください)→ J A M M I N

販売品目

責任者氏名

連絡先

TEL

選挙管理委員会からのお知らせ

7月6日は東京都議会議員選挙の投票日です ＜母島は繰上投票日7月4日(金)です＞

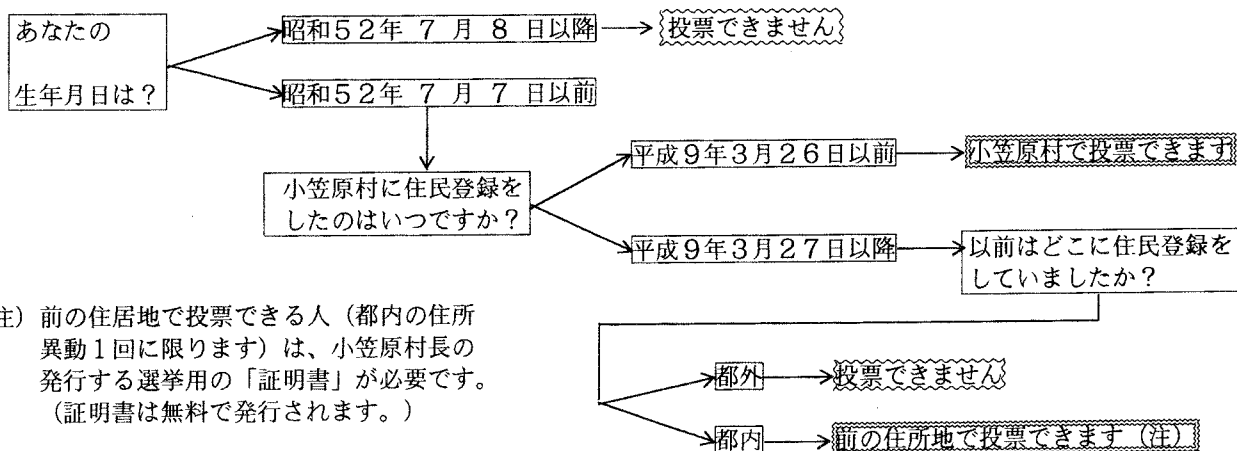
村長選に引き続き東京都議会議員選挙が予定されています。都議会も多くの政治課題を抱え、問題解決能力に優れた、真に議員にふさわしい候補者を、私たちの代表として選出する必要があります。一人ひとりが選挙の大切さを自覚して、棄権することなく、有権者としての権利を行使していただきたいと思います。

選挙日程

告示日	平成9年6月27日(金)	
繰上投票日(母島)	7月4日(金)	午前7時から午後6時まで
投票日(父島)	7月6日(日)	午前7時から午後6時まで
開票日	7月6日(日)	午後8時から(即日開票)

☆なお、今回の各投票所は
 父島 → 小笠原村役場
 母島 → 母島村民会館
 です。

◎最近転入届を出された方や、20歳になられた方へ あなたは有権者でしょうか？



※ 詳しくは、選挙管理委員会までお早めにお問い合わせ下さい。

不在者投票について

選挙の投票は、原則として投票日(もしくは繰上投票日)に、投票所において行うものとなっています。

しかし、出張や旅行、勤務、出漁等で当日投票所へ行けない方のために、不在者投票制度があります。6月27日から選挙期日の前日(母島の有権者は7月3日、父島の有権者は7月5日)までに、選挙管理委員会で事前に投票をすることができます。不在者投票は期間中毎日、村役場及び母島支所において午前8時30分から午後5時まで受け付けています。印鑑と、投票所入場券(既に届いている場合)をご持参下さい。

◎問い合わせ先：小笠原村選挙管理委員会事務局 2-3111